

# エラー表示で共有フォルダーにアクセスできない

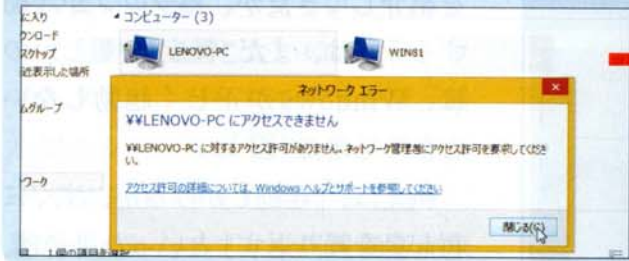


図1 共有フォルダーにつなごうとするとエラーになる

## 対処法

ユーザー名の違いが原因。空パスワードを許可する

発生頻度



危険度



難易度



図1は共有フォルダーを開く際に起こり得るエラーだ。接続にはサーバー側に登録されているユーザー名とパスワードの入力が必要だ(図2)。ところがサーバー側のアカウントにパスワードを設定していないときは、パスワードを空欄にしてもエラーが起きてしまう。セキュリティを考えれば当然だが、家庭内の利用などではパスワードを省きたいケースもある。

全ユーザー (Everyone) に対してアクセス権を設定している共有フォルダーは、「共有の詳細設定」で実現できる。「パスワード保護共有」を無効化すればよい(図3~図5)。特定のユーザーに対してアクセス権を設定している場合は、「ローカルセキュリティポリシー」で空のパスワードを許可する(図6~図8)。

## 「パスワード保護共有」を無効にする

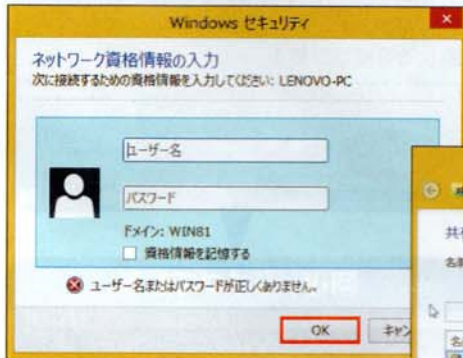


図2 図1のエラーが出る前に、ユーザー名とパスワードを聞かれた。サーバー側で設定はしていないので、パスワードは空欄にして「OK」をクリックしたのにつながらない

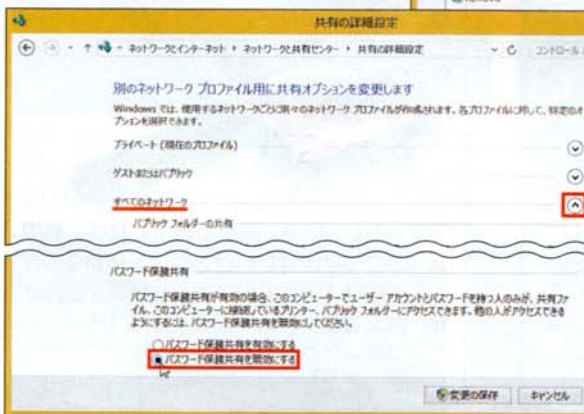


図4 さらにコントロールパネルで「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「共有の詳細設定の変更」を選ぶ。「すべてのネットワーク」の項目を開き、一番下にある「パスワード保護共有を無効にする」を選択

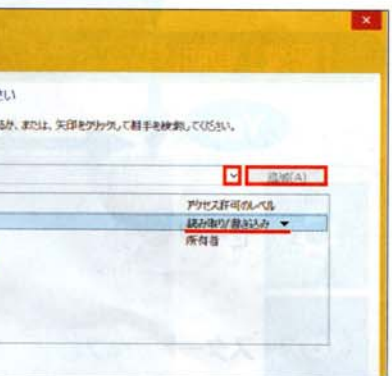


図3 共有したいフォルダーを右クリックして「共有」→「特定のユーザー」と選んで上の画面を開く。「V」ボタンから「Everyone」を選び「追加」をクリック。「アクセス許可のレベル」を読み書きできる設定にする

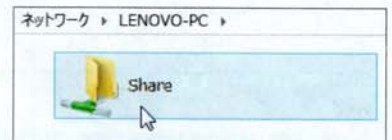


図5 今度はエラーが発生せず、共有フォルダーが表示された

## 空のパスワードの使用を許可する

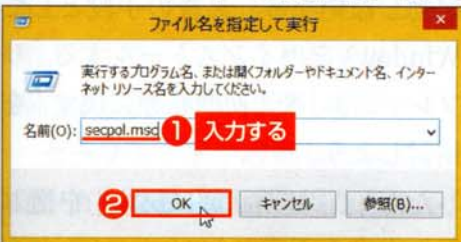


図6 上記の操作で共有できない場合は「ファイル名を指定して実行」から「secpol.msc」と入力して「ローカルセキュリティポリシー」を開く

図7 ローカルセキュリティポリシーの左ペインで(3)、(4)とたどり、右ペインに表示された「アカウント：ローカルアカウントの空のパスワード……」をダブルクリック

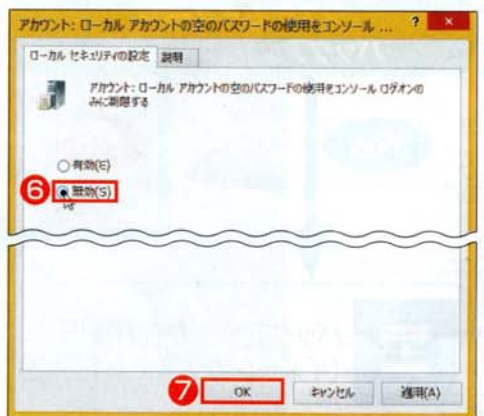
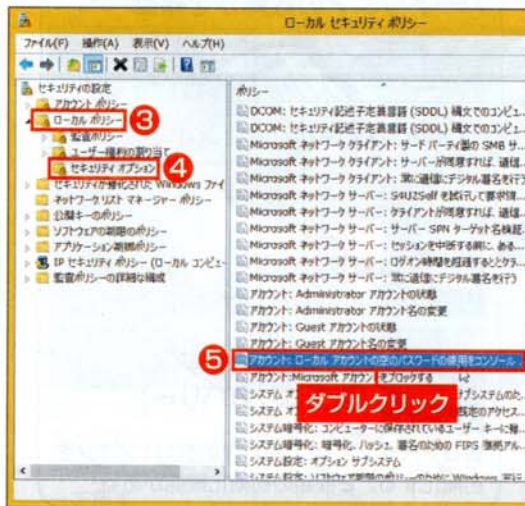


図8 空パスワードの設定画面。初期設定は「有効」に設定されているので、「無効」をチェックして「OK」ボタンをクリック